

2026年2月10日

株式会社ビズリーチ

ビズリーチ、国立高等専門学校機構 次世代IT人材育成のための「副業先生」プロジェクトが 「第8回日本オープンイノベーション大賞 選考委員会特別賞」を受賞

民間プロ人材を「実務家教員（副業先生）」として登用、全国の高専で最先端のデジタル教育を実施

株式会社ビズリーチ（所在地：東京都渋谷区/代表取締役社長：酒井哲也 以下、当社）は、独立行政法人国立高等専門学校機構（所在地：東京都八王子市/理事長：谷口功）と、2022年2月より連携協定のもと、共同で取り組んでいる「民間から実務家教員を登用する新しい産学連携人材育成モデル（通称：副業先生モデル）」が、内閣府が主催する「第8回日本オープンイノベーション大賞」において、選考委員会特別賞を受賞したことをお知らせいたします。

本取り組みは、2030年に最大79万人もの不足が予想されるデジタル人材の育成・確保を目的としています。ビジネスの第一線で活躍し、高度な知見を持つ民間企業のプロフェッショナル人材（以下、民間プロ人材）を「副業先生」として招き入れ、オンライン授業を活用することによって、全国の高等専門学校（以下、高専）で地域格差のないタイムリーで実践的な教育の提供を実現する仕組みを整備した点、および地方を含む全国の高専で一定以上の成果を挙げている点が、今後の普及・展開が期待される産学連携のロールモデルとして高く評価されたものです。



■受賞した取り組みの名称

民間から実務家教員を登用する新しい産学連携人材育成モデル。最先端の知見を伝え、デジタル人材不足の解消へ

■取り組みの内容と成果

本プロジェクトは、高専が民間プロ人材を「実務家教員（通称：副業先生）」として登用し、最先端のデジタル教育を提供する仕組を構築しました。即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」上で、「副業・兼業」「オンライン授業可」を前提とした公募を実施し、地域差なく民間プロ人材を教育現場へ招き入れることに成功しました。これにより、毎年約1万人の高専生が最先端の教育を受け、即戦力として産業界へ送り出される仕組みの形成を目指しています。

BIZREACH

スカウト可能会員数319万人(※)
プロ人材が登録する
国内最大級のデータベース
※2025年10月末時点

- ・ビズリーチ上での公募無償提供
- ・各校への人材活用アドバイザリ
- ・業務ツールの一部無償提供等

連携協定



KOSEN
国立高等専門学校機構

全国51校の国立高等教育機関
最先端技術者の輩出校

- ・「副業先生」による授業の実施
- ・積極的な民間人材登用の実現に向けた協力、検証のための情報提供

【2022年～2025年7月時点の実績】

導入実績：全国51高専のうち延べ14高専で公募を実施

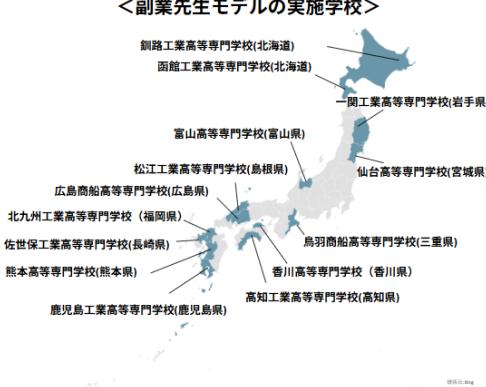
応募・採用状況：累計2,351人の応募から、72人の副業先生を採用

受講者数：副業先生による授業の受講学生総数は1,205人（全学生約5万人中）

副業先生の担当分野：サイバーセキュリティ、AI・機械学習、半導体、アントレプレナーシップなど、多岐にわたる20分野の民間プロ人材が活躍

これまで延べ14高専（51高専中）で公募を実施。2,351人の応募から72人の副業先生が20の分野で活躍！

副業先生による授業の受講学生総数1,205人（全学生約5万人）

<副業先生モデルの実施学校>		
		
<副業先生の担当分野>		
副業先生（実務家教員）	アドバイザー（副業参謀）	その他
(1)サイバーセキュリティ (2)社会実装PM（IoTやWebサービスなどのシステム製作） (3)AI・機械学習 (4)OS基本動作原理・ドライバソフト開発 (5)DX (6)GX (7)デジタルツイン（デジタルものづくり） (8)アントレプレナーシップ (9)ウェルビーイング (10)建設DX (11)船の自動化 (12)半導体	(13)広報 (14)ブランディング (15)業務効率化（BPR） (16)カリキュラム策定	(17)地域連携（産学連携） (18)リカレント教育 (19)ファンドレイジング (20)プロジェクト推進

※重複含む

独立行政法人国立高等専門学校機構 理事長 谷口 功 氏 コメント

ビズリーチ様とのオープンイノベーションがこのように評価されたことを、心よりうれしく思います。学生たちはビジネスの第一線で活躍する民間プロ人材から刺激を受けながら、自らの学びを高めるだけでなく、実社会でどう役立つかを肌で感じ、キャリア形成への意識を飛躍的に高めています。また、教員にとっても最新の産業トレンドを授業に取り入れる貴重な機会となっており、学校全体の活性化につながっています。今後も「社会のお医者さん（ソーシャルドクター）」としての高い志を持つ技術者を育成すべく、ビズリーチ様とともに次世代のIT人材の育成を加速してまいります。

■株式会社ビズリーチ 代表取締役社長 酒井 哲也 コメント

このたびの栄誉ある賞の受賞を、大変光栄に思います。今回の取り組みは、当社のサステナビリティプログラム「みらい投資プロジェクト」の一環として、未来のプロ人材を育てるために開始したものです。私たちが持つプロフェッショナル人材のデータベースと、高度な人材育成を担

われる国立高等専門学校機構様が掛け合わさることで、次世代に向けたプロ人材育成の新たなモデルを築くことができました。

今後も、国立高等専門学校機構様との連携を深め、このモデルをさらに発展させることで、深刻化するデジタル人材不足をはじめとした社会課題の解決に貢献してまいります。

■日本オープンイノベーション大賞について

内閣府が主催し、日本のオープンイノベーションをさらに推進するために、今後のロールモデルとして期待される先導性や独創性の高い取り組みを表彰する制度です。組織の壁を越えて知識、技術、経営資源を組み合わせ、新しい価値の創造や社会課題解決に寄与したプロジェクトが選出されます。

URL : <https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/index.html>

■即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」について

ビズリーチは企業と求職者が直接やりとりできるプラットフォームがなかった人材業界において、人材データベースを企業に開放することで採用市場を可視化しました。また、企業が求職者へ自らアプローチできるプラットフォームを提供することで、企業が必要としている人材を採用するために、あらゆる手段を主体的に考え、能動的に実行する採用活動「ダイレクトリクルーティング」を推進し、優秀な人材のスピーディーな採用をご支援しています。また、求職者も今まで知りえなかった企業からアプローチを受けることで、キャリアの選択肢と可能性を最大化することができます。

URL : 求職者向け <https://www.bizreach.jp/>

企業向け <https://bizreach.biz/service/bizreach/>

■株式会社ビズリーチについて

「キャリアに、選択肢と可能性を」をミッションとし、2009年4月より、働き方の未来を支えるさまざまなインターネットサービスを運営。東京本社のほか、大阪、名古屋、福岡、静岡、広島に拠点を持つ。即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」、社内スカウトで人材流出を防ぐ「社内版ビズリーチ by HRMOS」、人財活用プラットフォーム「HRMOS（ハーモス）」シリーズ、OB/OG 訪問ネットワークサービス「ビズリーチ・キャンパス」を展開。産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するさまざまな事業を展開する Visional グループにおいて、主に HR Tech のプラットフォームや SaaS 事業を担う。

URL : <https://www.bizreach.co.jp/>